

【報道関係各位】

2014 年の花粉症に関する実態調査

- 今年、花粉症を発症したのは41%
花粉飛散量の多かった2013年調査と比較すると4ポイント減少
- 今年、花粉症症状があった人の三大症状は「鼻水」86%、「くしゃみ」80%、「目のかゆみ」77%
鼻症状有訴者は95%
- 花粉症有訴者の花粉対策は「マスク使用」62%がトップ
処方薬の利用者は38%、市販薬の利用者は36%と同程度
効果感は処方薬、市販薬を問わず薬剤の効果感は7割を超えて高い
- 花粉症有訴者のうち、今年病院を受診したのは31%
「毎年行っているの」48%、「医者診察してもらいたいの」36%などが主な理由
非受診理由は「それほどひどい症状ではない」42%「市販薬で対応できる」36%「病院に行くのが面倒なので」34%

2014年5月12日
株式会社マクロミル

株式会社マクロミル（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：杉本哲哉）は、2014年の花粉症の実態と対策について、全国の20～69歳の男女を対象に調査を実施しました。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間は2014年4月17日（木）～4月21日（月）。有効回答数は989名。

<調査概要>

調査方法 : インターネットリサーチ

調査対象 : 全国20-69歳 男女
今年、または昨年花粉症を発症した者

調査日時 : 【事前調査】2014年4月14日（月）～4月16日（水）

【本調査】2014年4月17日（木）～4月21日（月）

有効回答数 : 【事前調査】5,000サンプル（人口構成比にあわせて回収）

【本調査】989サンプル（スクリーニング結果より有訴者比率にあわせてウェイト集計）

	14年 事前調査	14年 本調査 回収N	14年 本調査ウェイト 集計比率	14年 本調査 ウェイト集計後N
男性_20-29歳	412	100	0.093	92
男性_30-39歳	550	100	0.116	115
男性_40-49歳	508	100	0.098	97
男性_50-59歳	491	100	0.093	92
男性_60-69歳	538	100	0.086	85
女性_20-29歳	398	89	0.082	81
女性_30-39歳	534	100	0.115	114
女性_40-49歳	500	100	0.116	114
女性_50-59歳	497	100	0.097	96
女性_60-69歳	572	100	0.105	104
全体	5000	989		989

調査機関 : 株式会社マクロミル

<サイトURL>

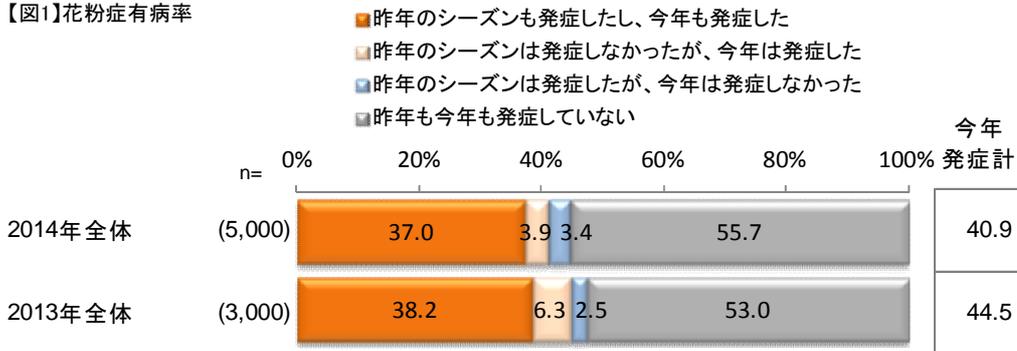
http://www.macromill.com/r_data/20140512mrkafunsiyou/index.html

【調査結果概要】

■今年、花粉症を発症したのは41%

人口構成比にあわせた5,000サンプルに花粉症の症状有無を尋ねたところ、2014年に花粉症を発症したのは41%でした。花粉量が多かった2013年調査と比較すると4ポイント減少しています。(2013年調査は3,000サンプル) 【図1】

【図1】花粉症有病率

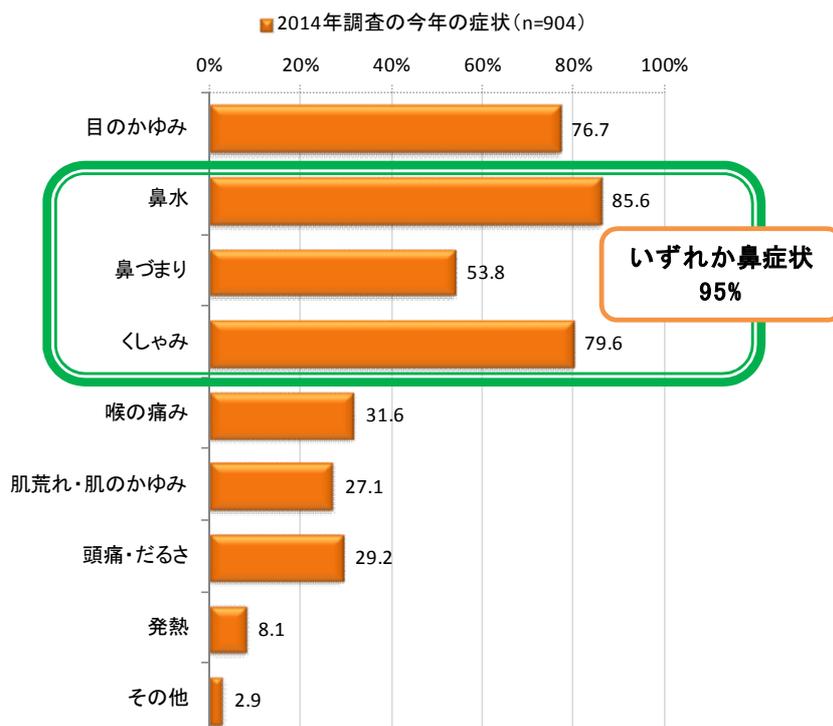


■今年、花粉症を発症した人の三大症状は「鼻水」86%、「くしゃみ」80%、「目のかゆみ」77%
鼻症状有訴者は95%

今年、花粉症を発症した人に症状の種類を尋ねると、三大症状は「鼻水」86%、「くしゃみ」80%、「目のかゆみ」77%でした。

「鼻水」「くしゃみ」「鼻づまり」のいずれかの鼻症状がある人は95%と、花粉症＝鼻の不快症状と定着しているようです。このほか、「喉の痛み」「肌荒れ・肌のかゆみ」「頭痛・だるさ」も3割前後が感じています。【図2】

【図2】花粉症の症状



■花粉対策は「マスク使用」が62%でトップ
処方薬の利用者は38%、市販薬の利用者は36%と同程度

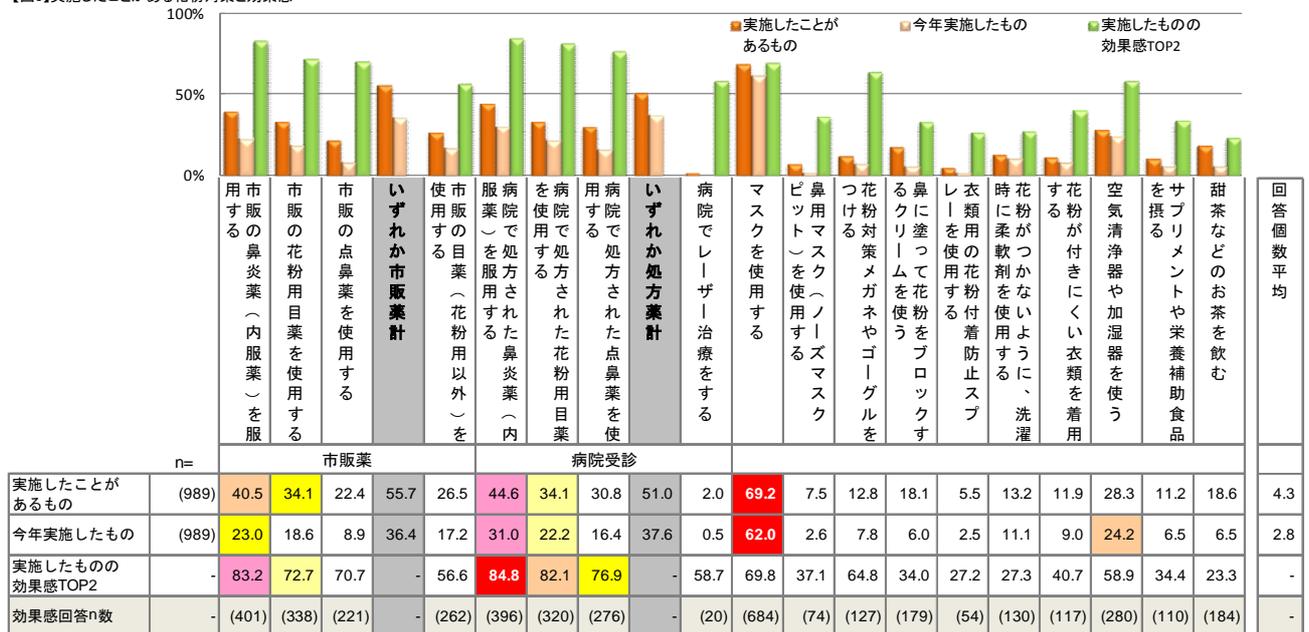
今年または昨年、花粉症を発症した人に、実施したことがある花粉対策を尋ねたところ、「マスク使用」が62%と最も多く、一人平均2.8個の対策を行っていました。

今年、処方薬や市販薬（内服、点鼻、点眼のいずれか）を利用したのはそれぞれ4割弱で、処方薬と市販薬を併用しているのは全体の1割程度でした。最も多い組み合わせは「処方の鼻炎薬」＋「市販の花粉用目薬」でした。

また、ここ数年広告などの露出が増えている「花粉対策メガネ」の使用率は8%にとどまっています。

これまでに行った花粉対策について効果感（「効果があった」＋「やや効果があった」）を確認すると、最も効果感が高かったのは「処方された鼻炎薬」85%、「市販の鼻炎薬」83%、「処方された花粉用目薬」82%、「処方された点鼻薬」77%と薬剤の効果は処方薬、市販薬を問わず7割を超えて高い効果感が得られています。【図3】

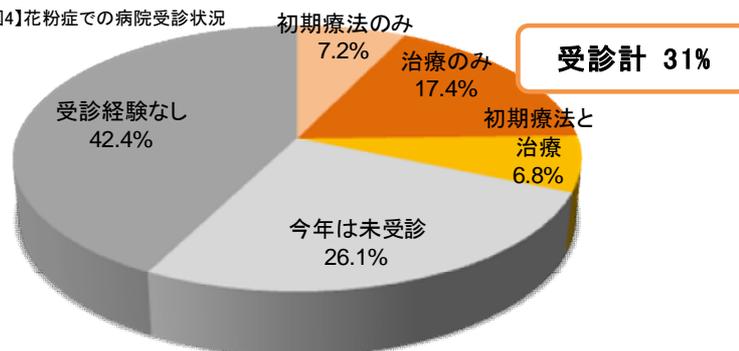
【図3】実施したことがある花粉対策と効果感



■今年病院を受診したのは31%

今年または昨年花粉症の症状があった人の中で、花粉症で病院を受診したのは31%でした。そのうち初期治療を受けたのは半数弱の14%でした。【図4】

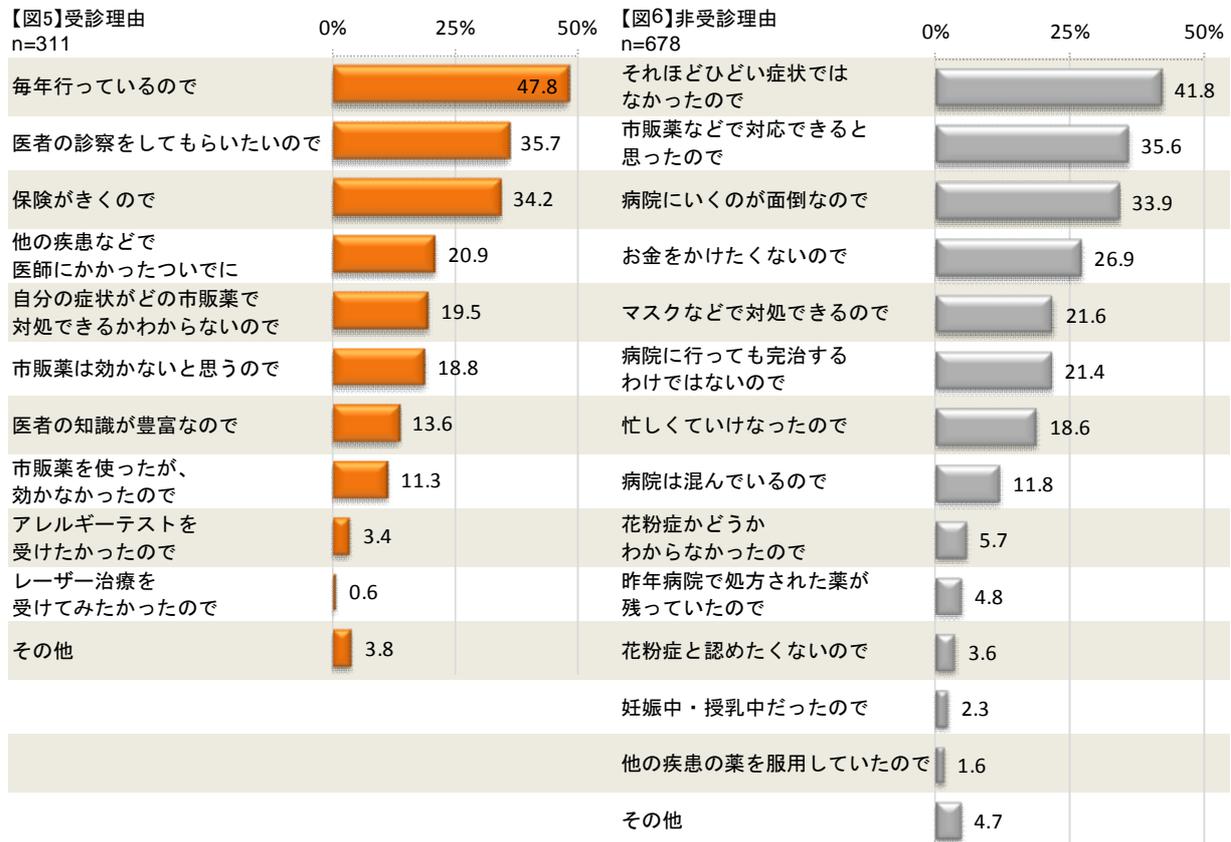
【図4】花粉症での病院受診状況



n=989

受診者の受診理由としては「毎年行っているので」48%、「医者診察をしてもらいたいの」36%といった理由が上位で、「市販薬は効かないと思うので」19%、「市販薬を使ったが効かなかった」11%といった市販薬に対するネガティブな項目は相対的に低位でした。【図5】

一方、非受診理由では、「それほどひどい症状ではなかった」42%、「市販薬などで対応できると思った」36%といった理由が上位のほか、「病院に行くのが面倒」34%、「病院に行っても完治するわけではない」21%となり、病院に対して一定のハードルがある様子が見えます。【図6】



調査結果の引用・転載に関するお問い合わせ

株式会社マクロミル 広報室：高橋

TEL：03-6716-0707 MAIL: press@macromill.com

調査内容に関するお問い合わせ

株式会社マクロミル：FMCG 営業部 第2 営業ユニット メディカルグループ：清水

TEL:03-6716-0710 MAIL: m3d@macromill.com

URL：http://www.macromill.com/